

平成28年度 土木学会選奨土木遺産 認定

磐越西線鉄道施設群

認定授賞式・記念フォーラム

日時：2016年12月10日(土)

13:00～16:30

場所：福島県立博物館 講堂

会津若松市城東町1-25

参加費：無料(先着200名)

JR磐越西線の鉄道施設群は、明治から大正初期の時代に急峻な山々や溪谷をトンネルや橋梁でつなぎ、日本初の架設工法の橋梁、米国製のトラス構造・ピン結合など特徴ある貴重な土木遺産です。
一方、2011年3月11日の東日本大震災後の3月25日から、臨時石油列車が横浜の根岸から新潟を経由し磐越西線で郡山まで運行され、被災地に暖かさや安心を届けてくれました。
震災後5年という節目を過ぎ、ライフラインの機能を再認識するため、磐越西線による臨時石油輸送の役割に関する情報・意見交換を地域住民と共に進めます。また、地域資源としての楽しみ方も受発信します。

ピン結合トラス式のノ戸橋梁



転車台(新津駅)



早出川橋梁



深戸橋梁



平瀬トンネル



徳沢橋梁



蟹沢橋梁



長谷川橋梁



釜ノ脇橋梁



一ノ戸橋梁



奥徳橋梁



濁川橋梁



転車台(会津若松駅)



旧奥州駅本屋



転車台(郡山駅)

13:00～ 開会挨拶

13:15～ 認定授賞式

認定の経過報告・認定授賞式

○認定記念フォーラム

13:40～ 記念講演「磐越西線鉄道施設群の**特徴と魅力**」

(公財) 鉄道総合技術研究所 小野田 滋

14:40～ パネル討論会

「**ライフライン**としての磐越西線、**地域資源**としての磐越西線」

コーディネーター：東北大学大学院 後藤光亀

パネリスト：「磐越西線の地形と歴史」福島県立博物館 竹谷陽二郎 田中伸一

「ライフラインの鉄道が走る」会津鉄道株式会社 大石 直

「一ノ戸橋梁のライトアップとまちづくり」喜多方市 橋本幸宏

「磐越西線の利活用」日本大学 知野泰明

オブザーバー：鉄道総合技術研究所 小野田 滋

16:00～ 総合討論

16:30 閉会挨拶

主催：公益社団法人 土木学会東北支部 後援：福島県立博物館 協力：日本貨物鉄道株式会社 東北支社

問合せ先：Tel：022-222-8509 E-mail：jsce-isan@tohokushibu.jp

釜ノ脇橋梁のカンチレバー式架橋
写真：鉄道総合技術研究所